その四

繁二郎はニシン場の大船頭やったことあるそだ。そのどぎニシン来たけれど、ワク回す術知らなかったわけだ。したっけ、ワク回すぞって、他の者、オーッて一生懸命やったって、繁二郎ガボンと海さ入ったじ。

「おー繁二郎海さ入った」

ってへったべ。そしたら繁二郎、

「おれどごさかまわねで、おがどワク回せ」

そうやって海さわざと落ぢだのせ。